

日経の14版にあたります。降版時間は11版が9時過ぎ、12版が11時過ぎ、14版が1時半前。原稿の締め切りはそれより早くなるため、12版が配られる朝毎読日経は10時過ぎ発生事件がぎりぎり載せられるかどうかということになり、先程例を挙げたようなケースが発生することになります。それでは何時の事件まで載せられるかということですが、厳密に言うと午前1時25分59秒までです。この春までは35分59秒まででした。降版協定が繰り上ったのは68年7月以来初めてであり、各社の事情が窺えます。協定時間が過ぎて大事件が起きた場合は、在京6社が全員一致の場合のみ延長できますが、通常サンケイが拒否権を行使します。

各紙の内容についてはとやかく言いません。ただ新聞の中で最も読まれていない社説について注目していただきたいと思います。読売や毎日、社説を一面裏から中面に移してしまいましたが、その社の報道方針がはっきり提示されている囲みです。日経では論説編集委員の合議制で、社としての方針が固まらないことは取り上げていません。例えば臓器移植については日経は社説に取り上げていません。丸谷オ一の「女さかり」という小説は、ある新聞社を舞台にした社説の舌禍事件を核に進行しますが、日経ではまず起こらない事態といえます。

◎ 出席報告

会 員 数	67名	出 席 率	函 館 北 10月 6日	93.85%	
出 席	46名		函 館 東 10月 5日	89.66%	
欠 席	21名		函 館	9月30日	90.60%
他クラブ出席	15名		函館五稜郭	10月 1日	100.00%
出席合計	61名		函館亀田	10月 4日	92.15%
除 外 者	2名				

次回・10月27日  
プログラム

卓話「あさっての翌日」

函館税務署長 赤澤 國孝氏

第2510地区 第11分区



1993~1994

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

□パートR.バース 国際ロータリー会長テーマ

行動に信念を 信念は行動に

BELIEVE IN WHAT YOU DO DO WHAT YOU BELIEVE IN

森 秀樹会長 今年度のテーマ

“出逢いを大切に、”



「ロマンチック街道」 椎谷 龍彦 会員

《第1463回例会》 第 16 号 10月27日(水)

本日のプログラム

卓話「あさっての翌日」

函館税務署長 赤澤 國孝氏

★会 長 森 秀樹 ★幹 事 清水 孝信

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務所：函館市大手町5-10 二チロビル3階 23-3870

1993~1994

〈第1462回例会〉 第 15 号

## 10月20日の記録

- ◎司会 森 秀樹 会長      ◎斉 唱 手に手つないで  
 ◎ピジター 函館R.C.渡部明男君・小林 明君・小石恂二君・大平淑人君・岩淵  
 清典君・森川順治君、函館五稜郭R.C.貞森 晃君・村田栄司君・酒  
 井正人君・本田元清君・西村憲人君・清水大朔君・輪島輝一君・岩  
 田勝三君

## ◎会長報告 森 秀樹 会長

- 国際ソロプチミスト函館より礼状が来ております。
- 千葉港R.C.から会報が届いております。
- IMについて

と き 平成5年11月14日(日)  
 12:00~12:30 登録・受付  
 12:30 点鐘 開会 (於 王朝の間)  
 17:10 点鐘 閉会  
 17:30~19:00 懇親会 (於 芙蓉の間)

ところ 五島軒本店

テーマ "ロータリークラブの組織と運営について"

基調講演 講師 小堀 憲助 先生

## ◎講師略歴

大正15年 東京に生まれる  
 昭和23年 中央大学法学部卒業  
 昭和25年 中央大学法学部助教授となる  
 昭和33年 中央大学法学部教授となる

〈この間、昭和32年から同35年の3年間、アメリカのスタンフォード大学  
 及びミシガン大学においてアメリカ憲法・アメリカ契約法を学ぶ。  
 さらに、その後、ロンドン大学で半年間留学を経験する。「英米法」  
 の著書多数あり、とりわけ『イギリス法の合理性』『中世ヨーロッパ  
 におけるローマ法』『英米法とローマ法』等の著作の他雑誌等に掲載  
 された文献は無数。また、司法研修所において「英国契約法」の教官  
 を務める〉

昭和42年 ロータリーに入会

〈社会福祉法人ホミニス会理事、ホミニス学園園長〉

〈現在、大村ロータリークラブ名誉会員。ロータリーに関する著書・文  
 献多数〉

- 台北東北クラブよりお土産が届いています。

## ◎委員会報告

- ・創立30周年記念実行委員会 幹事 南木 哲雄 会員  
 決算報告を行い、会員の承認をいただきました。

## ◎幹事報告 清水 孝信 幹事

- 例会変更の案内 11月10日(水)の例会は11月7日(日)の家族会に変更します。
- 30周年記念の写真の焼増し申込は本日限りとします。

## ◎親睦活動委員会 佐々木速人 会員

## ニコニコBOX投入報告

森 会長……BOXに協力。

藤野 会員……ホームクラブ欠席がちです。

藤枝 会員……BOXに協力。

佐藤(十)会員……ホームクラブ欠席がちです。

佐々木(公)会員……BOXに協力。

小笠原会員……BOXに協力。

南木 会員……小池凌一とノースアイランダースに入会しました。

金子 会員……BOXに協力。

鈴木 会員…… "

## ◎卓話 「アメリカの金融事情」 毛利 克己 会員

私は1980年から1984年までの4年間、拓銀ニューヨーク支店に勤務し  
 1987年から1990年までの3年間、ロスアンゼルス支店に勤務いたしまし  
 した。途中の3年間は、東京築地支店の外為課長・国際部中国室勤務で1980年

代の10年間は国際業務をやっておりました。米国には都合7年間の勤務でしたが、その時の経験から本日のテーマとさせていただきます。

### 1. 邦銀のニューヨークへの進出状況

邦銀の中では、東京銀行が最も早く進出しています。同行は外国為替専門銀行であったため当局の認可も早かった訳です。1960年の後半から1970年にかけて都銀・興長銀が相ついでニューヨークに支店を設置しました。当行は1970年にニューヨーク支店を設置しその後1975年頃までにロスアンゼルス支店・シアトル支店と3ヶ店の設置をしています。その後信託銀行の進出があり1980年代の半ばには地銀・第二地銀の進出があり、日本の普通銀行はその大半が、支店あるいは駐在員事務所として拠点活動をしています。

### 2. 主たる邦銀の銀行業務について

(1) 預金については、受入れ制度があり、一般大衆からの所謂個人預金の受入れは出来ません。大宗は法人の当座預金で付利しないためにその残高は大きくありません。従って調達はコール・ローン(米国ではフェデラル・ファンドと云う)の借入れ、輸出手形見返りとしたりファイナンスと輸出手形引受けによるB/Aファイナンス主体となっています。

(2) 運用は上記の調達資金にスプレッドを乗せた貸出や輸出手形割引主体となっています。国債(T/B)などの運用もあるが残高的には少額です。

### 3. 貸出先の変遷について

#### (1) 1970年代の貸出先

1970年代のニューヨークにおける貸出先は、日系商社・メーカー・石油リファイナリーなどで所謂日系取引が中心となっています。業務の中味は貿易金融中心で、輸入信用状の開設、その決済資金の貸出、輸出集荷資金の貸出、輸出手形の取組と買取などとなっています。1970年代後半になると、ソブリンものと称するメキシコなど中南米諸国、中央銀行などへのシンジケート・ローンも積極的に行われるようになりました。

#### (2) 1980年代前半(1980~1985)

この時期になると日系取引は縮少しています。理由としては大体以下の3

つの理由が考えられます。①日本での外為法改正により、親会社・子会社間の輸出入は信用状や輸出手形の取組をする必要がないということになった。相殺による差額の送金で可という規制緩和があったこと。②邦銀の支店ラッシュで競争激化し、利ざや縮小で取引妙味が減少したこと。③大手商社あるいは石油リファイナリーの大手はC/P(コマーシャル・ペーパー)を単独、あるいは銀行のバックアップ保証で発行することで直接金融をするようになった。

#### (3) 1980年代後半(1985~1989)

これまで盛んであったユーティリティーものや地公体案件は競争激化により利ざやが縮小して来たこともあり、妙味が薄れてきたため取扱も減少してきた。これに代ったのが地場民間企業向貸出で所謂、コーポレートものです。コーポレートものは利ざやも大きいリスクも大きいものがあり、どちらかと云えば、ハイリスク・ハイリターンと云えます。

#### 4. (1985~1989)米国のバブル

1980年代後半は米国も不動産ブームで、オフィスビルやショッピングモールが雨後の竹の子のように建設された。銀行は、米銀・外銀を問わず不動産ファイナンスに走り、それが焦げついて倒産するという中小の銀行が続出した。年間100件以上も倒産するという事もあった。(一店舗だけの銀行もあったが) また、LBOファイナンスも格付のないジャンクボンド(信用度の薄い社債=利ざやは大きい、リスクも大きい)に手を出して経営危機に陥った証券会社・保険会社も多い。

#### 5. 米国での新しい金融制度や商品は、すぐに日本でも取入れられる。

##### (1) 円建B/A市場の創設

米国のB/A市場を参考に円建B/A市場が創設されているが市場スケールは小さく、育っていない。

##### (2) ファクタリング

米国では商業手形という商慣習がなく、企業の売掛金を買取るファクタリング業を専業とする業者がある。日本でも別会社方式で〇〇ファクターなる会社が創られたが、本来のファクタリングでなく手形割引などでお茶を濁し



ている。

(3) CP (コマーシャル・ペーパー)

日本では銀行のバック・アップ保証により行なわれている。企業の直接金融として将来育って欲しい。

(4) 預金金利の完全自由化

各行預金レートは自由にやっている。日本も来年6月に完全自由化される。米国では、一定以上の預金残高をキープしておかないと口座維持手数料を要求されるが、日本もそういう時代になるかもしれない。

(5) 東京オフショア市場

ユーロ円市場は元来、香港・シンガポールで発展して来たが、これを日本に呼び戻そうとして創設されたもの。米国では1983年にユーロ・ダラーの米国への吸収を狙ってIBFという名称でオフショア市場が創設された。日本の東京オフショア取引もこれに倣ったものと云えよう。

◎ 出席報告

会 員 数	67名	出 席 率	函 館 北 10月13日	93.75%
出 席	43名		函 館 東 10月12日	92.05%
欠 席	24名		函 館 10月 7日	89.83%
他クラブ出席	17名		函館五稜郭 10月 8日	100.00%
出席合計	60名		函館亀田 10月11日	祝日休会
除 外 者	2名			

次回・11月3日  
プログラム

祝日休会

11月7日(日)

「家族会」 矢不来 天満宮



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

□パートR.バース 国際ロータリー会長テーマ

行動に信念を 信念は行動に

BELIEVE IN WHAT YOU DO DO WHAT YOU BELIEVE IN

森 秀樹会長 今年度のテーマ

“出逢いを大切に、



「ロマンチック街道」 椎谷 龍彦 会員

《第1464回例会》 第 17 号 11月7日(日)

本日のプログラム

「家族会」

矢不来 天満宮

★会 長 森 秀樹      ★幹 事 清水 孝信

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 事務所：函館市大手町5-10 二チロビル3階 23-3870